

こしわ 越王だより

家庭数配付

地域回覧

発行所 新潟市立巻北小学校



<http://www.makikita.city-niigata.ed.jp/>

令和4年10月14日 No. 8



『巻北プライド』の発揮

校長 上澤田 誠

夏休み開けからスタートした前期後半は、難しい課題に向き合わなければならない「ピンチの時期」でした。新型コロナウイルスの急激な感染拡大、熱中症対策、めまぐるしく変化する天候。教育活動への影響は極めて大きいものでありました。

この時期の中心的な活動である5年生の妙高自然体験教室やマラソン大会の延期、子どもの活動の制限、各種対策と教育活動の両立の難しさなど、苦慮したことはたくさんありましたが、特に心配したのは、子どもたちの意欲の低下でした。準備してきたことが一旦途切れてしまうと、元に戻すのは簡単なことではありません。

そのピンチを救ったのは、子どもたちでした。「ピンチをチャンスに」を合い言葉に、5年生の子どもたちはもう一度自分たちのこれまでの取組を見つめ見直し、よりよい体験教室をつくろうと動き出しました。さらに、自分たちだけでなく「学校全体を守りたい」と思いを膨らませ、全校児童に手洗いの徹底を呼びかけ始めたのです。

6年生の子どもたちは、全校での清掃ができない期間中、校舎内の様々なところのボランティア清掃を行い、校内美化に努めました。また、5年生を元気づけようと、妙高自然体験での過ごし方について自分たちの経験を楽しい劇にまとめ、伝える活動を行いました。

9月下旬に再開したマラソン練習では、体育委員会の子子どもたちが活躍しました。グラウンドにマイクとプレイヤーを持ち出し、軽快な音楽を流しつつ「〇年生、今日も頑張っていますね」「明日もまた、頑張りましょう」と声をかけ、練習する人の気持ちを盛り立てていました。

巻北小学校の一員であることに誇りをもち、よりよい学校づくりに主体的に取り組もうとする『巻北プライド』を発揮し、子どもたちによる活動が次々と創られていった前期後半でした。

いよいよ令和4年度の後期のスタートです。後期には、子ども主体の活動がたくさん計画されています。きっと子どもたちは、様々な場面で『巻北プライド』を発揮していくことでしょう。

私たち大人も負けてられません。それぞれの立場で、子どものお手本となりつつ、しっかりと北っ子を育てていきましょう。



前期 がんばったこと

1年

ぼくが、1ねんせいになってがんばったことは、3つあります。

1つめは、さんすうです。ぼくは、とけいをよむのがとくいになりました。みじかいはりとながいはりだけじゃなく、チクタクしているいそがしいはりもよめるようになりたいです。

2つめは、たいいくです。ぼくは、がっこうのプールが、大きくてふかくてびっくりしました。うけたので、クリオネみたいに手とあしをうごかしました。きもちよかったです。

3つめは、ともだちとなかよくなったことです。ぼくは、せきかえでいろいろなともだちとはなしをしました。おにごっこでみんなのパワーをあつめたら、もっともったのしくなりました。こうきもがんばります。



3年

ぼくは、前期をふりかえって、思ったことが3つあります。

1つ目は、友だちをふやせたことです。3年生は、クラス替えがあって、最初はまだ知らない人もいて不安だったけど、しだいになれてきて、友だちをたくさんふやすことができて、うれしかったです。

2つ目は、ドリルをがんばったことです。特に、計算ドリルでは、2年生の時の自分をこえて、1回目から2回目、さらに3回目もすることができました。漢字ドリルは、2回目までしかなかったけど、漢字50問テストで、2回100点を取って、実力がついたと思います。

3つ目は、マラソン大会の練習についてです。去年は、合計で25周くらいしかはしれなかったけど、今年は50周をこえられたので、がんばったと思います。



6年

僕が前期に頑張ったことは、3つあります。1つ目は、あいさつや5分前行動です。あいさつでは、同学年や友達だけではなく、教室に入る前に通る学年にあいさつをかわしました。6年生として下学年のお手本になるようなあいさつを心がけました。5分前行動では、20分休みや昼休みでは、チャイムのなる5分前には、教室や清掃場所に行きました。チャイムが鳴った後に行動せず、5分前行動をすれば、教室に行っても気持ちに余裕が出て、しっかりと活動することができました。

2つ目は、勉強です。主に、算数や図工を頑張りました。算数では、自分が分かる問題で、班や号車のみんなが分からない時に、分かりやすい説明を心がけました。図工では、文化祭の絵を描いています。さまざまな色を使い、色を組み合わせ、茶色などのさまざまな色を作り、丁寧に塗ることを心がけました。

3つ目は、運動会です。僕は、青組の副団長をしました。休み時間にはたくさん練習し、エールでは、息をなるべく続くようにして、青組の応援を盛り上げるように頑張りました。みんなと頑張って、W優勝ができてよかったです。

後期も頑張って悔いのない小学校生活を送りたいです。



マラソン大会

～最後まで走りぬく～

体育部

子どもたちは、マラソン大会に向けて体育の時間や休み時間等を使い、新型コロナウイルスの感染予防に気をつけながら、マラソン練習を行ってきました。「走り抜くカード」を使い、どのくらい走ったかを記録しながら取り組みました。練習中には、友達とお互いのがんばりを認め合う姿がたくさん見られました。

天候にも恵まれて、10月3日(月)に1年生・3年生・5年生、4日(火)に2年生・4年生・6年生のマラソン大会を実施することができました。今までの練習の成果を発揮して、多くの子どもたちが練習の時よりもタイムを早くすることができました。また、子どもたちが最後まであきらめずに走り抜く姿に、私たち職員も心を打たれました。お家の方々の大きな声援が子どもたちの励ましとなりました。お忙しい中、応援にお越しいただき、本当にありがとうございました。

年々、子どもたちの体力低下が叫ばれています。しかし、子どもたちの様子を見ると、練習できるときは「今日もたくさん走るぞ」と勢いよくグラウンドへ走っていき、熱中症対策のために練習ができないときは残念そうな様子の子がたくさんいました。子どもたちのやる気は、昔も今も変わらないと思います。

マラソン大会は終わりましたが、子どもたちの中には、「来年に向けて今から練習するぞ」と話す子どもも見られました。これからも、元気に体を動かす子どもたちを育てていきたいと思います。

